

第575回 新潟放送番組審議会 議事録

- 議題

テレビ番組

「BSN 水曜見ナイト 大震災から1年～東北と新潟 元気の絆～」



平成 24 年 3 月 21 日

BSN新潟放送

第575回新潟放送番組審議会

1.開催日時 平成24年3月21日(水)午前11:00~

2.開催場所 BSN本社 511会議室

3.委員の出席

委員側出席者(敬称略・順不同)

委員長	松川公敏	副委員長	相羽利子
委員	渡辺隆	委員	古賀豊
委員	小島良子	委員	佐々木広介
委員	行形貴子		

委員側欠席者(敬称略・順不同)

委員	武藤克己	委員	齋藤俊太郎
委員	正道かほる		

新潟放送側出席者

社長	竹石松次	常務	熊倉雄三
編成局長	野島常雄	報道制作局	報道担当部長
営業局長	島田好久		五十嵐幹史
説明員	報道制作局情報センター	プロデューサー	櫻井雅也

事務局

社長室長	佐藤隆夫(事務局長)
査広報部長	野上信子(事務局員)

4.議題

(1)報告事項

- ・竹石社長より武藤克己委員が3月で退任されることを報告した。
- ・4月の新番組、単発番組について(各局長)

(2)審議事項

テレビ番組「BSN水曜見ナイト 大震災から1年
~東北と新潟 元気の絆~」

放送日時 平成24年3月7日(水)午後7:00~7:55

～ 番組審議委員の主な意見～

震災から1年、「水曜見ナイト」はラーメンの炊き出しや被災地への支援などこれまで被災地に寄り添う取材をしてきたので抵抗なく見ることができた。

新潟に避難している人々にむけて、テレビユー福島・東北放送・岩手放送のアナウンサーから応援メッセージが送られたのが良かった。

番組は、新潟に避難している人を勇気付けること、新潟県人が関わっている被災地支援の活動と交流がテーマだったが、原発問題に触れていなかった。

正解が見いだせない中、被災者や自主避難をしている人たちが、どのようにがんばっているかを取り上げることは可能だったのではないかと。どうしたら元気を出してもらえるか、問題にしっかり取り組まないと本当の元気は出てこないのではないかと。

大きな地震を経験した新潟県民だからこそ今後も風化させないためにマスコミは継続的な報道をお願いしたい。

【制作者のコメント】

水曜見ナイトは「新潟の元気を伝え新潟の元気をつくる」がテーマ。

新潟の人間がどう支えて行くのか、新潟県民と避難している方にむけて放送した。

南三陸町に何度か行ったが、まだまだ支援が必要だ。

我々の取材がどれだけ力になっているのかいないのか、被災地の方に聞いたところ

「新潟から取材に来てそれを地元新潟で放送してくれることがなによりの力になる」と言っていた。

風化させてはいけない、可能な限り取材を継続して今後も心の支援をしたい。

【文責・番組審議会事務局】
